

現在、18カ国の学習者と交流しています。

市岡国際教育協会・日本語教室は、大阪府立市岡定時制高校の閉鎖を受けて、働きながら学ぶ「定時制の灯」を消したくないと定時制高校の同窓会が中心となり1996年5月にスタートしました。市岡国際教育協会は、田龍会(市岡高校定時制同窓会)に母校の廃校後も、引き続き支援して頂いております。

Ichioka 会報

2003/12
第24号

発行人/市岡国際教育協会理事長 八木正一/編集/広報係
大阪府港区市岡元町2-12-12 TEL:06-6582-0348

特定非営利活動法人
市岡国際教育協会 日本語教室

- 場所 大阪府立市岡高校内
- 日時 金曜日午後7時から約2時間
- ボランティア参加費
入会金 1,000円
年会費 1,000円
- 学習者は無料

天保山まつりのボランティアに参加して

菊川 愉喜栄

参加のきっかけ

基本的にはお祭りが好きな私は、学生の時、文化祭に出店した屋台に参加した軽い気持ちで参加してみたいと思ったのがきっかけでした。もちろん、たくさんのお客さんが出店していることで、まだ訪れたことのない国、食べたこともない見たこともない他国の料理にも大変興味もありました。

活動内容

私が参加させてもらったのはフライピン屋台でした。出店者の方達は、家族での出店でも何度か出店を経験しているとのことでした。販売する食べ物の下準備をしてくれていたので、開店前は思ったよりお手伝いをする事が少なかったように思いましたが、「とにかく、私は開店前からワクワクした気分がありました。」

いざ、屋台は開店しました。手伝いはといえ、「オーコイ」の販売と「ハロハロ」の色々な具をカップに入れることでした。オーコイを例えると和食のかき揚げのような感じのものです。主にキャベツを薄くスライスして小麦粉を入れ、乾燥した小海老をいれキャベツの水分を用いて混ぜて合わせ、水を加えず油で揚げるシンプルなものです。食べる時には、フライピンのソースを掛ければなお一層風味がよくおいしいのです。オーコイは祖国にいるお母さんが良く作ってくれた料理とのことでした。

「私も異国にいたなら、同じように母の得意な料理を試みるだろうなと思いました。」ハロハロは、一部のコンビニでも販売していますがそれは全然違うものでした。なぜなら、何種類かの具はすべて手作り(お母さんと娘さんたち)であったからです。

「親子の協力に感動しました。」「おいしく作ってたくさんおかわりをしてしまいました。」作った具をカップに入れかき水を上に重ね、かき氷シロップを好みに合わせてかけたものです。

オーコイは昼を過ぎて完売してしまい、ハロハロはとてよい天気のお陰で売れ行きがとどまることを知りませんでした。ハロハロにおいては、途中で氷の追加配達をお願いして販売をして、遂には完売をしてしまいました。「本当にいい気分でした」

活動後に思うこと

テントの屋根があるとはいえず、とても暑い灼熱の中ほとんどの人が朝から日が暮れるまで立ち続けて屋台に参加していたことに情熱を感じてしまった。また、やって来てくれたお客さん達も、色々な屋台から食べ物を買って炎天下の中なのに食べているのを見ると本当に楽しそうに思えた。誰しも少なからず、他国に好奇心があるでしょう。それは人との交流・文化・食べ物……。その好奇心を満たしてくれる時間があの一瞬にあるのだと思う。天保山祭りは、またお客として訪れたい、あるいは屋台に参加したい!と自然に思う祭りなのだろうと思う。ただただありきたりかも知れないけれど、楽しくみんなに好かれる祭りを今後も機会があったなら私もどんな形であれ参加したい!と思わずにはいられない。「ちよっと、大袈裟かも?!ですが。」

今回が初めてのボランティア参加?!「それほど実感がないけれど」と、なっただけれど、また違ったタイプのボランティアにも参加したい。



加してみたいと思う。



ミニ外国語教室

木野 文生

今年も夏休み前に、天保山まつりに参加することになり、ミニ外国語教室を開き、簡単な日常会話を七ヶ八カ国語の予定で、幸い今年は二回目、昨年のテキストを直しながら準備。

先生は学習者の中から、領事館などへ電話し、全て外国人で進め、会場に来ていたインドネシアからの企業研修生が、先生に飛び入り参加のハプニングも!!! (編集部注:実は彼も市岡の学習者でした。)

正午すぎから三十分ずつ、休憩をはさみ「おはよう」や「さようなら」など二十の簡単な日常会話を学習、それぞれ母国の言葉や習慣を紹介。

韓国語、インドネシア語、フランス語、英語、中国語、ネパール語、タガログ語、(フライピン)、ベトナム語、ポルトガル語(ブラジル)の九カ国語の教室を開きました。

私は台湾の屋台を手伝いました。『ハイ!おいしい手作りちまき。ゴマ団子揚げたてだよ!美人になる台湾のゼリー愛玉。いらっしやい、いらっしやい』と大声を出してやっていました。よく売れてうれしかったです。当日はとても暑くて疲れたけど、大変おもしろかったです。屋台の皆さんは初めて会った人がほとんどでしたが、いっぺんに仲良くなれた感じでした。また来年も、是非参加させて頂きたいです。(木内恵美)

ネパール語の「こんにちは」は(ナマステ)で、言う時は手を合わせる。タガログ語の「父」は(イタイ)、「母」は(イナイ)など、また、母国(ベトナム)を小さい船で出国、太平洋を漂流して、日本へ向う船に救助され、来日、一生懸命働き、現在家族と幸福に生活していると言う話を聞くと、訪れた家族連れや若者に参加してもらい、地域の皆さんとの小さな国際交流のお手伝いが出来ました。

十月二十五日(土)には、大阪国際学校(インターナショナル・スクール)のフェスティバルに参加。インドネシア語、ドイツ語、中国語、英語、ネパール語の五カ国の日常会話のミニ外国語講座を開きました。

模擬店、バザー、バンド演奏、琉球エイサー太鼓演奏などミュージックとパフォーマンスの大音響の中での講座で、先生や学習者に大変ご迷惑をかけた事と思いますが、天保山まつりもインターナショナル・スクールのフェスティバルも市岡国際教育協会日本語教室の皆様のご協力により、無事終了出来ました。